

コスタリカ内政・外交主要事項 (2020年12月)

2020年12月の当国内政・外交主要事項を以下のとおり報告申し上げます。

【要旨】

内政

- 1 パトリシア・モラ女性問題担当大臣が政府とIMFの交渉を巡って辞任を表明。
- 2 本年4月にコスタリカ社会保険庁が、中国からの医療関連物品等の無償供与を受けるに当たって、適切な手続きを踏むことなくチャーター機借り上げを実施した上、民間企業に無償供与とは無関係の商品輸送を許可していた等の疑いが浮上した。
- 3 マルセロ・プリエト大統領府大臣辞任に伴う閣僚人事が行われた。

外交

アルバラード大統領はバイデン次期米国大統領と電話会談を行った。

【各論】

I 内政

1 モラ女性問題担当大臣の辞任

12月7日、パトリシア・モラ女性問題担当大臣は辞意を表明した。モラ大臣は辞任届の中で、辞任理由を各種セクターとの対話における政府の対応に怒りと不満を覚えるためとした。具体的には、アルバラード大統領がIMFとの交渉を行う用意があるとの姿勢を対話関係者よりも先に、ラ・ナシオン紙に伝えたことにある。後任には、マルセラ・ゲレロ（現地方行政促進機構（IFAM）総裁）が就任。

2 社会保険庁による中国からの支援物資輸送にかかる手続き不正疑惑

(1) 本年4月、社会保険庁（CCSS）は、中国政府からの無償援助の供与品である医療関連物品等55トン在上海まで取りに行き、サンホセに輸送するため航空チャーター機3便の調達契約（計129万米ドル）を結んだ。CCSS調達局は、DHL GLOBAL FORWARDING社を通じて計3機のチャーター便機を契約した。

(2) チャーター機が運ぶことになっていたのは、中国政府が提供した無償援助の医療関連器具・備品、医療消耗品他であった。しかしながら、CCSS調達局のハンス・ビンダス顧問（マスク納入疑惑に関与した疑いで休職中）は、CCSSと中国からのマスクの納入を契約したBioplus Care社（主に中米各国に拠点を置く医療治療器具等販売企業）に対して無償供与品とは無関係の製品をチャーター機に積み込むことを許可していた。

(3) 不正に輸送された製品はBioplus Care社の商品に留まらず、CCSSと関係のある様々な調達業者が中国の供与品とは無関係の商品を輸送していた。しか

しこれらの会社はこれまでにCCSSに対してチャーター機利用料金を支払っている。

(4) 他方、5月8日の時点で、CCSSは同庁内監査部の調査結果として、3機のチャーター機契約は透明で法律に則ったものであったとのプレスリリースを発売しているが、同調査結果を撤回している。検察庁が、チャーター機契約の不正疑惑の調査に乗り出しており、12月15日、CCSS内部監査部はチャーター機による中国からの物資輸送に関する契約書を検察庁に提出した。

(5) このチャーター機調達のための入札には、CCSSから（マスク納入疑惑の納入業者として国会に召喚された）、スペイン人のミレン・マルティネス氏が代表を務めるMR Comunicaciones Politicasにも同入札通知書が送られ、同社も応札していた。落札したDHL等、入札通知書が送られた他の11社が著名な輸送業者であったのに対し、MR社は、航空機などの輸送手段の調達に関する事業に関わった経験が一切なかった。

3 プリエト大統領府大臣の辞任

(1) プリエト大臣は公の場での失言が目立ち、辞任することとなった。

(2) 後任には、ジェアニナ・ディナルテ労働・社会保障大臣が就任、同職にはシルビア・ララ大統領府次官が就任した。

II 外交

アルバラード大統領とバイデン次期米国大統領の電話会談

(1) 11月30日、アルバラード大統領はバイデン次期米国大統領と電話会談を行い、冒頭同氏の第46代米国大統領就任を祝福し、多くの米国民が大統領選挙に参加したことを評価した。

(2) 「ア」大統領はバイデン氏の当選により、コスタリカ及びラテンアメリカ地域で新型コロナウイルス対策、経済再活性化、気候変動問題や人権といった分野における協調への期待感が広がったことを強調した。

(3) 「ア」大統領は二国間政策協議、国際協力、貿易や投資の促進により二国間関係を強化するために積極的、建設的に取り組んでいきたい旨述べた。また、多国間関係においては、民主主義、人権、気候変動問題や包摂的で持続可能な経済回復といった国際社会が直面する問題に創造的、刷新的そして積極的に取り組む必要があるという認識で一致した。